

まちづくりの目標

安心のまち
美しいまち
親切なまち

高芝だより

高芝地区自連・高芝地区社協会報

高芝地区自治会連絡協議会
高芝地区社会福祉協議会

第48号

編集・発行/広報編集委員会



消防出初式

船橋市の「新春消防出初め式」は1月11日、船橋アリーナを会場に行われ、青空に向かって一斉に放水する場面では水のアーチに虹も見られ、多くの市民はその美しさに魅了されていました。



柴田良一 会長

高芝地区自連にご参加の町会・自治会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も地区自連一丸と

なつて「安心安全」なまちづくりに邁進してまいります。全国共通の問題ですが少子高齢化や空き家問題、防犯、防災意識の向上、そして持続可能な社会の実現など取り組みべき課題は山積してきます。では地域ではどのよ

住民の声が「地域の課題」

交流の場は活性化への一歩

高芝地区自連 会長 柴田良一

うなことが出来るのか、真剣な議論が必要です。この難題に背を向けずに出来る所から進めること

が私たちの責務と考えます。地域のまちづくりに躊躇しません。皆さんからも声を寄せてください。諸課題について話し合う場も作りましょう。特に防災対策は行政の対策に加え、地域に特化した独自の対策の必要性が求められています。傾斜地が多い高芝地区では高齢化対策と同時に地震対策は最大の課題となっ

今も忘れられない！ 能登半島地震から1年



写真はテレビ画面より

昨年元日のテレビ、突然飛び込んできた石川県能登半島地震のニュースは記憶に新しい。津波ではなく道路陥没、多くの家屋が倒壊するといった非日常の世界があった。震度7による住宅倒壊は約9万1000棟、死者は災害関連死を含め426人。9月には豪雨災害が追い打ちをかけた。船橋市で11月、総合防災訓練が行われた。学校施設を避難場所に安否確認、簡易トイレ、担架の作り方などを体験したが「こんなもので良いのかな」と思ったことも事実でした。

(2面・3面に防災特集)

祝 初春

令和7年 高芝地区自連役員一同

ています。情報を共有しながら一人一人が考える必要があります。地域には温かい助け合いと連帯の精神が息づいています。地区自連においても地域のスポーツイベントへの参加や部会・委員会活動など、皆様の

積極的なご協力に感謝いたします。本年も地域住民の交流を深め、互いを尊重し合いながら、共に助け合う社会を目指そうではありませんか。高芝地区の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【執行部】	会長 柴田 良一 (高根東町会)	副会長 田原 康夫 (芝山6丁目町会)	宮崎 春雄 (三笠自治会)	中澤 富夫 (西高根町会)	渡部 烈 (睦町会 常任理事推薦)	吉村 建二 (西高根町会)	中北 勝 (松三町会)	渡辺 良文 (南高根自治会)	柴田 良一 (高根東町会)	古賀 稔 (高根東町会)	大久保 亮子 (エトワール仲村自治会)	高峯 明美 (高根セキスイ自治会)	榮 毅熾 (南高根自治会)	佐藤 潔 (南高根自治会)	中澤 富夫 (西高根町会)	山川 鈞司 (西高根町会)	高橋 光男 (西高根町会)	横張 正巳 (高根木戸第一町会)	栗原 淳 (高根木戸第一町会)	藤代 敏雄 (高根木戸西町会)	見崎 一郎 (雄鹿野自治会)	中村 圭一 (雄鹿野自治会)	古川 雅士 (オークタウン船橋自治会)	小野 共幸 (芝山西馬込自治会)	常世田二郎 (芝山馬込自治会)	中台 久雄 (芝山第二自治会)	友行 貴久 (芝山東町会)	児玉 拓也 (大慶山住宅自治会)
【理事】	長野 一孝 (高根東町会)	沼田安希央 (高根セキスイ自治会)	渡辺 良文 (南高根町会)	吉村 建二 (西高根町会)	三田 節子 (西高根町会)	佐藤 忠道 (高根木戸第一町会)	萩沼 洋 (高根木戸西町会)	岡田 健一 (雄鹿野自治会)	村松 浩一 (芝山第二自治会)	平塚 邦彦 (大慶山住宅自治会)	地葉 伸吾 (芝山中央町会)	光畑 高志 (松三町会)	脇谷 茂 (睦町会)	遠藤 公子 (芝山6丁目町会)	井上 春夫 (三笠自治会)	吉田 宣之 (三笠自治会)	窪田貴美子 (わかば町会)	中北 勝 (常任理事会推薦)	本木 次夫 (西高根町会)									

大地震!その時...

防災特集



100人以上が参加した西高根町会の避難訓練=11月24日

「先ず身の安全」を確保

自助 共助
 地域に広めたい
 近隣の助け合い

国は「みんな助けるとなぜ言えぬ!」ある防災評論家の怒りの言葉である。「自助、共助、公助」は命を助ける順番なのか。国は支援するけど命までは助けられないのか。結局、「自分の命は自分で守れ」ということなのか。

船橋市の総合防災訓練でも一斉行動訓練(シェイクアウト)は揺れが始まった瞬間、頭をかばう行動を指導しています。

シェイクアウトは命を守る基本



学校や家庭で机やテーブルの下に身を隠し揺れが収まるのを待つ。身の安全を確認してから次の行動に移る。簡単ではあるが命を守るには重要な訓練ではある。災害時、瞬時の判断は自分なのだから常日頃から考えなくて

「自分ならどうするか」を考えていますか? 備えはできていますか? 「自分の命は、まず自分で守れ、そして近所隣人同士で助け合う」。高芝地区はこの様な組織づくりを目指します。

自主防災組織づくりは小さな町会では大変です。いろいろな意見を出し合ってみる必要です。地域づくりが必要で自分たちの事を考えて行動しましょう。

元消防士が語る
**本当に使える
 防災知識とは**

市防災フェア
 船橋市市民文化ホールで1月18日、「防災フェアふなばし」(主催:船橋市、船橋市自治会連合協議会)が開催されました。

大規模災害に対して広く市民が災害への備えや地域での防災活動に関する意識を高め地域の防災力の向上を目指す催し。

「大災害その時どうするか、どうなる」と題した講演会。講師は防災スペシャリストとして活躍し、元消防士の経験をもつ防災家・野村功次郎氏。災害、救急現場の体験から本当に使える防災知識、災害時の身の振り方や備えなどについて語った。

玄関ホールでは防災関係団体による防災資料展示、AED体験、相談コーナーが設けられ、高い関心を呼んでいました。

はならない。地震災害は時間や場所を選ばない。昨年は石川県能登の大震災でお正月気分は吹き飛び、一年経った今も災害現場は手つかずの所もあるという。生活復旧に苦慮している。いつ起こるのかわからない災害に

◆高芝地区スポーツ大会◆

【ワナゲ】(10/12)
 (参加者37名)=表彰1~5位

1位	松三町会	武藤 隆勝	1110点
2位	松三町会	宮田 松代	930点
3位	松三町会	野田 治男	870点
4位	松三町会	塩野 博成	847点
5位	南高根自治会	東田 嘉夫	772点

【グラウンドゴルフ】(10/13)
 (参加者82名)=表彰1~5位

1位	高根木戸西町会	藤代 敏雄	(ホールインワン3、パー12、得点45)
2位	南高根自治会	内田 益美	(ホールインワン3、パー9、得点49)
3位	高根木戸第一町会	古沢 喜昭	(ホールインワン2、パー13、得点49)
4位	高根木戸西町会	吉野 秀夫	(ホールインワン3、パー10、得点50)
5位	南高根自治会	児玉 栄夫	(ホールインワン1、パー13、得点50)



市、警察、地域が連携して実施したまちづくり運動

「安心安全」はみんなの願い

電話詐欺に注意喚起!

船橋市「安心で安全なまちづくり旬間」の取り組みが昨年10月、船橋東警察、船橋警察両署管内で行われました。テーマは「電話de詐欺」。高芝地区自連協をはじめ習志野

飲酒運転なくそう

地区の町会・自治会など約30団体が北習志野JUU広場集まり、買い物客らに注意喚起を呼びかけました。

地区自連生活部会は活動のメインに「飲酒運転根絶」を掲げ、今年も独自のポスターを制作、全町会・自治会に配布しました。年末年始に向かっ



高芝自連オリジナルポスター

「訪問詐欺」や「闇バイト」による強盗対策。現在、ポスター制作中です。高芝のみならず船橋市内全域で取り組むべき自連協の事案として地区から行政に呼び掛けていきます。



10年後の高芝地区に高い関心...

変わる高芝地区
 10年後の青写真
 高根台で講演会

高芝地区自連主催の新高根・芝山のまちづくり講演会が11月2日、高根台公民館で行われました。市の第3次都市計画マスタープランから「新高根・芝山の将来ビジョン」に焦点を充てたもので10年後の高芝地区まちづくりの青写真に関心を呼んでいました。

一人は
みんなのために
みんなは
一人のために

みんなを支える 地域の福祉

高芝地区社会福祉協議会

単身高齢者の防災 備えは、対策は：

高齢化率31%。単身高齢者も多いと言われる高芝地区。この地が大地震に襲われたら…。考えたくもない話です。まず「自助」(自分の命を守る事)を考えてください。家屋が倒壊したら、不安と恐怖の中で生き延びるために何が出来るだろう。激しい防災訓練は無理

な高齢者に救済策はあるのだろうか。その意味で高齢者救済に特化した防災教育や防災備品の中に自分の命を守るため、写真にあるようなホイッスルや小さなライトを所持することは大切。声が出せない人は笛で所在を知らせましょう。また単身高齢者の各家



防災訓練で行われた「担架づくり」



護身用のホイッスル①とミニライト②



あつ、危ない…落ちる! 洋ダンスの上に重い荷物を上げるのは危険です。もう一度点検しましょう

また単身高齢者の各家庭の家具倒壊防止の安全策などは町会、自治会で出来る現実的な防災対策です。対象世帯を早急に調査すべきです。

高齢者はじめ弱者への防災対策は多くは施設などでも行われていますが地区社協は見守り活動を中心とする安心登録カード、市は避難行動要支援者への対策がどこまで進んでいるのか。各機関が連携した対応が今、必要な時です。

防災特集

増えてほしい「幸齢者」

高芝地区社協会長 吉村建二

高芝地区社協役員一同より、新年のお慶びを申し上げます。

「幸齢社会」という言葉が目についた。年を重ねても健康で幸せに暮らせる社会づくりの意。高齢

化に対応するための言葉だという。その「幸齢者」を増やす対策に国は認知症対策の強化、生涯学習の促進などを挙げている。理解はできるが「地区社協」レベルだけで出来る話ではない。

育児支援、高齢者見守り、特に喜ばれている単身高齢者を対象とするミニデイサービス。孤独になりがちな高齢者同士が月に一度集まってステーションを楽しみ、茶飲み話に花が咲き思わず笑

顔になる、そんな場面があちこちで見られる。コマだが地区社協が目指すのがこれである。高芝地区の高齢化率は船橋市23・9%を上回る31・1%。高齢化はどこまで進むのか。市の生涯学習は長寿社会を見据えた新しい高齢者観、価値観を示しています。高芝地区の今年の目標は「元気な幸齢者づくり」を目標に掲げたい。

有明、築地、豊洲 車中も楽し バス研修会

有明の防災施設に目を見張り、築地でキヨロキヨロ、豊洲では「これがあの豊洲市場か」と、高芝地区社協ボランティア研修会は何かと楽し



東京臨海広域防災公園にある「そなエリア」で震度レベルを感じ取るボランティアの皆さん

あふれるものでした。11月26日早朝、計32人を乗せた大型バスは芝山を出発。一路、東京・有明の防災体験施設「そなエリア」へ。職員に案内され、タブレットを使ったクイズ形式の防災体験や資料見学。国の施設だけに各所に災害の恐ろしさ、備えの大切さを考えさせる仕掛けに感心させられました。この後は近距離の築地で昼食、腹を満たして広い場外市場を自由散策。人の多さに驚きながらちよつと買い物も。訪れた豊洲千客万来もすっかり都内の観光名所。久しぶりに目の保養になった一日でした。

- 会長兼事務局長 吉村 建二
- 副会長 柴田 良一
- 事務局長 中澤 富夫
- 書記 藤代 敏雄
- 理事 吉田 テイ子
- 理事 山口 牧人
- 理事 高橋 光男
- 理事 泉 恵美子
- 理事 宮野 千晶
- 理事 魚見 安久
- 理事 笠木 幸彦
- 理事 杉田 勝

初春のお慶びを申し上げます

令和7年度 高芝地区社協役員一同



- 理事 石井 博
- 理事 針生 将寛
- 理事 佐々木 トモ子
- 理事 吉野 万智子
- 理事 増田 直美
- 理事 熊野 健
- 監事 三田 節子
- 顧問 本木 次夫
- 地区社協事務局 西村 千恵美
- 深沢 貴子
- 星川 直美
- 松井 るみ子 (敬称略)

《訃報》

副会長・畠中ツヤ子さんが10月18日ご逝去されました。心よりお悔み申し上げます。

ミニデイサービス

登録要件を緩和

参加しやすくなります

お友達づくりに朗報——。
高芝地区社協の人気事業「ミニデイサービス」の参加登録要件が4月から大きく変わります。新高根公民館を舞台にした単身高齢者の集いは昼食の時間（5月から）も設定しており、より楽しさを増すミニデイにご期待ください。参加者を公募致します。地区社協の電話に是非ご一報ください。

高芝地区社協 047-469-5050

楽しい昼食の時間復活

開催時間を 一時間延長

人生虹色。いろんな方とお友達になりませんか。30人前後の単身高齢者の集いにボランティアも加わり、おしゃべり、笑い合う、そんな場所が



芝山6丁目町会会館で開かれた出張ミニデイサービス。地元町会のサークル・大正琴演奏や参加者の合唱など会場は楽しい雰囲気に包まれました＝令和6年9月4日

「ミニデイサービス」って？

新高根・芝山地区の単身高齢者が月1回水曜日に集まる交流会。軽体操、クイズ、舞台ショー、お誕生会、お話の時間など、ぎっしり。日ごろの寂しさ忘れます。

「今や誰でもなりうる」認知症 共生社会実現へ国が基本計画

12月初めの新聞に政府は「認知症施策の指針となる基本計画を決定した」という記事があった。「急速な高齢化で認知症はいまや誰でもなりうる」とし、みんなが支え合う共生社会の実現に向けて取り組みを推進する

と明記。当事者の意思尊重を含む重点目標を設定、社会参加の機会確保、認知症の正しい理解の周知といった推進すべき12の施策を掲げている。

認知症の高齢者は2022年の443万人から40年に584万人に増える。と見込まれている。計画は「一人一人が自分の事として理解し、当事者が自分らしい暮らしを続けることを考える時代が来た」と指摘している。他に認知症になっても希望を持って暮らし続ける「新しい認知症観」など

も重点目標としている。単身高齢者が増加する中、見守りなど地域住民の協力は不可欠。国だけでなく社会全体で取り組むための環境整備が求められている。

公民館事務所は4月から

高芝地区社協の仮事務所が高根東小学校から新高根公民館に戻るのは4月になります。公民館

工事が延びたため、社協の事業にも影響が出そうです。年度末、年度初め、大変忙しい時ですが、



福だるまを製作するボランティアの皆さんと完成した作品



ミニデイ高齢者に「福だるま」贈るボランティアが手作り新春を祝う可愛い「福だるま」が出来ました。10、11月に子育て

ボランティア交流会が開かれ、延べ20人のボランティアたちが折り紙で「福だるま」60個を製作、ミニデイの高齢者に贈られました。

ここなのです。参加者からはいろいろな声がかかります。その一人、芝山から来られている80歳代の女性は「日頃一人でいるものですからミニデイが待ち遠しくてカレンダー眺めながらお友達と会える日を数える毎日です」と感想を述べています。

新年度から開催時間を10時から午後1時まで1時間延長します。昼食をみんなと一緒に食べるための時間です。これまでのお弁当の持ち帰りから「ふれあい昼食」と呼び、観て食べて談笑する皆さんの交流の場となります。仲間になって「一人ではない自分」を見つけてください。民生委員、ボランティアの皆さんからの推薦、そして自らもお電話ください。



他地区に学ぶ

「福祉まつり」

新高根公民館の休館で中止となった高芝地区の「福祉まつり」。他22地区の開催情報を手に4人のスタッフは「他地区の福祉まつりから何かを学ぶチャンス」とばかり、休日を利用して巡回視察に出かけました。

いずれの地区も「地域の皆さんに楽しんでもらえる福祉まつり」という気持ちの伝わる内容で、知恵と工夫にあふれた企画に感心しました。キッチンカーの出店、消防車体験、移動交番の協力など、これまでの高芝にはなかったものも飾り付け一つとっても目から鱗のものばかりでした。何より、ボランティアさんたちの協力があってこそ開催できるということを改めて実感させられた視察でした。

高芝地区の令和7年度「福祉まつり」は10月5日(日)です。他地区から学んだことを生かして、ボランティアさんたちと一丸となり「喜んでもらえる福祉まつり」を目指します。乞うご期待です。